



八期歴史会往来第33号

2020年1月1日～1月31日(金)

(令和2年第1号)

新年第1号を送ります。今年もよろしくと書きたいところですが、今日は1月31日です。ご存知のようにこの2週間？日本いや、中国の武漢から世界へ広がった新型コロナ(トヨタカローラにとってプラスになったのか？それとも迷惑？)の話題で騒然。第2号を送る頃は収まっていることを祈りましょう！ 管理人 大石

●大石さん はじめ 八期会の 皆さんへ 1月2日

おはようございます。

新年のめでたさをあまり感じなく なって きた ような 感じします。

面白い ものを いただいたので 自分だけ 楽しむのは・・・と思い メールします。

傘寿を迎え だんだんと 記憶力も 衰えてきております。まだまだ…という人もおられるかと思えます。これは 少数派です。

道路を暴走するのが18歳。 迷走するのが81歳

心もろいのが18歳。 骨がもろいのが 81歳

・・・など あとは 添付 資料で 読んで下さい。

もう すでに 入手済みでしたら ごめんなさい。

「18歳と81歳」 マンションの人から こんなことを書いた紙をもらい、面白かったので コピーもらい、読んでみると思わずうなずいたり微笑んでしまったり。

自分だけで楽しんでいたら申し訳ないとの思いで、公開します。

- ・道路を暴走するのが18歳。 迷走するのが81歳。
- ・心がもろいのが18歳。 骨がもろいのが81歳。
- ・偏差値が気になるのが18歳。 血糖値が気になるのが81歳。
- ・受験戦争を戦っているのが18歳。 アメリカと戦ったのが81歳。
- ・恋に溺れるのが18歳。 風呂でおぼれるのが81歳。

・まだ何も知らないのが18歳。 もう何も覚えていないのが81歳。

・東京オリンピックに出たいと思うのが18歳。 東京オリンピックまで生きていたいと思うのが81歳。

・自分探しの旅をしているのが18歳。 出掛けたままわからなくなつて皆が探しているのが81歳。

・「嵐」と言うと松本潤を思い出すのが18歳。 鞍馬天狗の嵐寛寿郎を思い出すのが81歳。

壁に貼ってある内容をスマホで撮影するのが18歳。 紙に走り書きするのが81歳。

ちなみに、この紙をくださった方は若い方でした。

●明けておめでとうございます。

大石さんに倅い、賀状を張り付けてみました。

今年もよろしくお願いいたします。

●箱根駅伝、その後のラグビーで正月さを感じています
1月2日

今年も、応援のし甲斐があります。

木場さん

いただいた面白き対句の最後にあった鞍馬天狗のおじさん嵐寛寿郎を思い出したのは昔、小学校6年の時に読んだ「高垣眸の怪傑黒頭巾」アマゾンから福岡にいる小学校6年の孫に1冊送り自分用に1冊取寄せたら、なんと昭和45年5月30日第1刷発行でした一気に読みました。

西山 和宏

● 1月2日 クマモト発

明けておめでとうございます。

本年もよろしくお願いいたします。



鹿児島の正月は、年末に比べて相当に冷え込みましたが、元旦も今日も素晴らしい青空が広がっています。昨日はニューイヤー駅伝の放送後、子供・孫たちも全員・11人で照国神社に集まって初詣をしました。

昔の鹿児島の正月は、照国神社と松原神社を結ぶ天文館の通りが、物凄い人出で賑わっていましたが、松原神社のサーカスもなくなったこともあり、照国神社だけに集中しています。テレビで見る関東や関西の神社の初詣に人出には及ばなものの、最近では並んで待つような状態です。昨日も我慢強く45分待ちました。その様子を県外にお住まいの皆さんにも見ていただきたいので下手な写真を2枚添付します。

今年も元気で過ごしましょう。

マモト

タツオ

●照国神社、随分並んでいますね高校在学のころ、初詣の記

神代の昔須佐之男命（スサノヲノミコト）は息子の大国主命（オオクニヌシノミコト）に試練を与えるために荒野に放った鏑矢を取ってくるように命じました。大国主命が荒野に陥り困っていると聞もなく火を点けました。大国主命は「内はほらは外はすぶすぶ（洞穴に入つて猛火を凌げば、やがて火は衰えます）」と教えてくれました。教えに従い、火をやり過して、洞窟の外に出るとネズミが鏑矢をくわえて持ってきました。そのネズミは大黒天が大国主命を助けるために遣わした使者だったので、大黒天は大国主命と習合し七福神として祀られるようになりました。ネズミが大黒天の使いとされているのは右のような話に由来するそうです。

寿



謹んで新年のご祝詞を申し上げます

令和2年 元旦

113-0024 東京都文京区西片2丁目3番6号

西山和宏・マサ子

Tel. 03-3814-0360 ☎070-2796-4878

e-mail: mfikazu@tkg.att.ne.jp

憶と言うよりも松原神社でサーカスを家族で観て、親の因果が子に祟った何とやらの小屋砂糖で作った鯛目当ての籤

覗きからくりなどなど正月の雰囲気がいっぱいでした。

今日では正月は、さほど正月らしくなったようです。

それも正月は正月のです。西山 和宏

● 大石くん

連日暖かい日が続いていますが、ちょっと気が抜けたのか少し風邪気味です。

正月の賑やかさも去って、退屈しのぎに「島津義弘ゆかりの城館跡」なるものをつくってみました。

これもまだまだ完全とは言えないと思います。気がついたことがあったら知らせてください。私もまだ手を加えたいと思っています。

先日のメールに書いた「鹿児島県の島津氏関連史跡」は未完成です。出来次第送ります。

クマモト

島津義弘ゆかりの城館跡

①伊作城跡（亀丸城跡）天文4年（1535）7月23日、島津貴久の二男として誕生

②伊集院（一宇治）城跡（日置市伊集院町）

③内城跡（鹿児島市大竜町）天文23年（1554）現在は大竜小学校

④岩剣城跡（始良市平松）天文23年（1554）岩剣城を陥落させる

この時、兄義久らと共に初陣を飾る。10月19日、岩剣城に入り3年在番する。

⑤飫肥城跡（日南市）永禄3年（1560）日向国飫肥の領主島津忠親の養子

となり、飫肥に3年在番する ★内城へ帰る 永禄5年（1562）

⑥飯野城跡（えびの市飯野）永禄7年（1564） 夫人は加久藤城に置く。

⑦加久藤城跡（えびの市大明司）

★八代古城跡（熊本県八代市）

★名護屋城跡島津陣屋（佐賀県唐津市）

⑧松尾城跡（湧水町栗野）天正18年（1590）

★朝鮮巨濟島陣

⑨帖佐館跡（始良市鍋倉）文禄4年（1595）

★朝鮮慶尚道泗川城

★関ヶ原合戦後、桜島の謹慎蟄居地（鹿児島市桜島藤野町）

⑩蒲生城跡（始良市蒲生町久末・下久徳）慶長5年（1600）10月

関ヶ原合戦直後、蒲生城を対徳川戦に備え改修する。

★建昌城跡（始良市西餅田）慶長5年（1600）5月家久の本城候補となる

⑪平松城跡（始良市平松）慶長11年（1606）

⑫加治木屋形跡（始良市加治木町）慶長12年（1607）

元和5年（1619）7月21日、加治木で死去。享年85歳。

●隈元くん、頑張ってますね。 オオイシです。
風邪は油断大敵🦠ですよ。
罹ってしまったら長引くので要注意📢
目下正月休み中でテレビ観戦と身内の会食続きです。
島津関係は活字ともしばしストップしています。
2日は木村美子宅に隆、南郷くんたちと押しかけました。
年賀状の整理などが終わったら森くんやらお会いしましょう。
右は木村美子宅。



●皆さん若くて元気そうで、いい正月ですね。
我々のシンボル・浜崎会長も元気に写っていますね。
安心しました。 クマモト

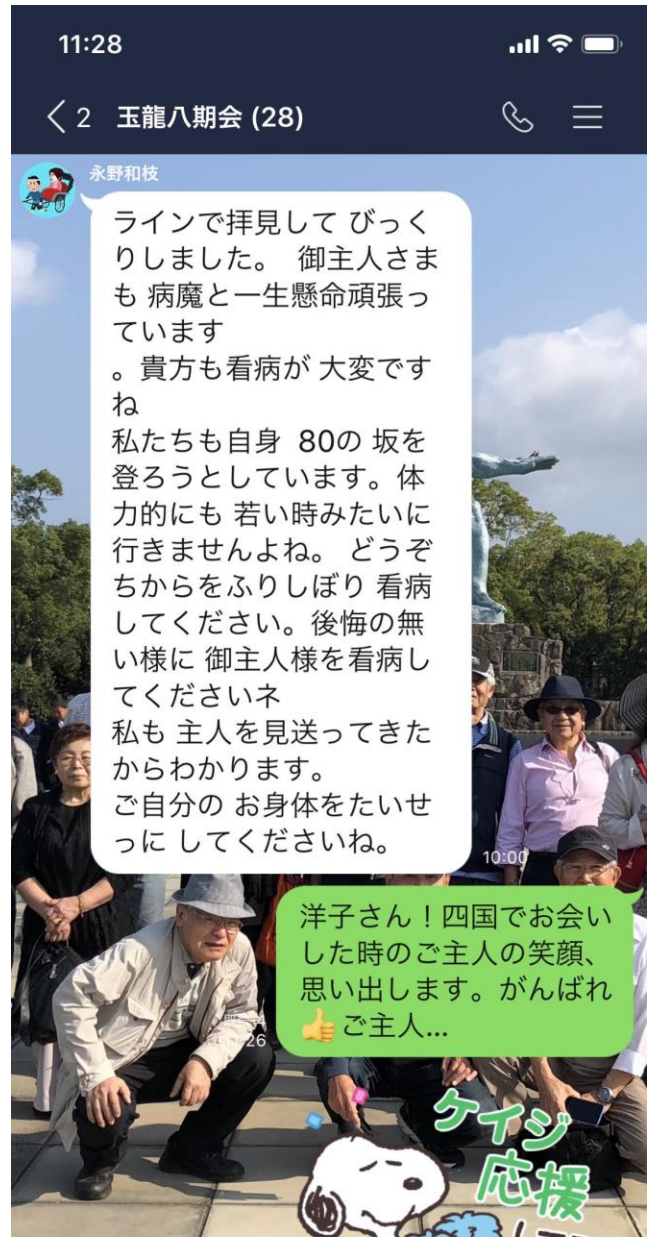
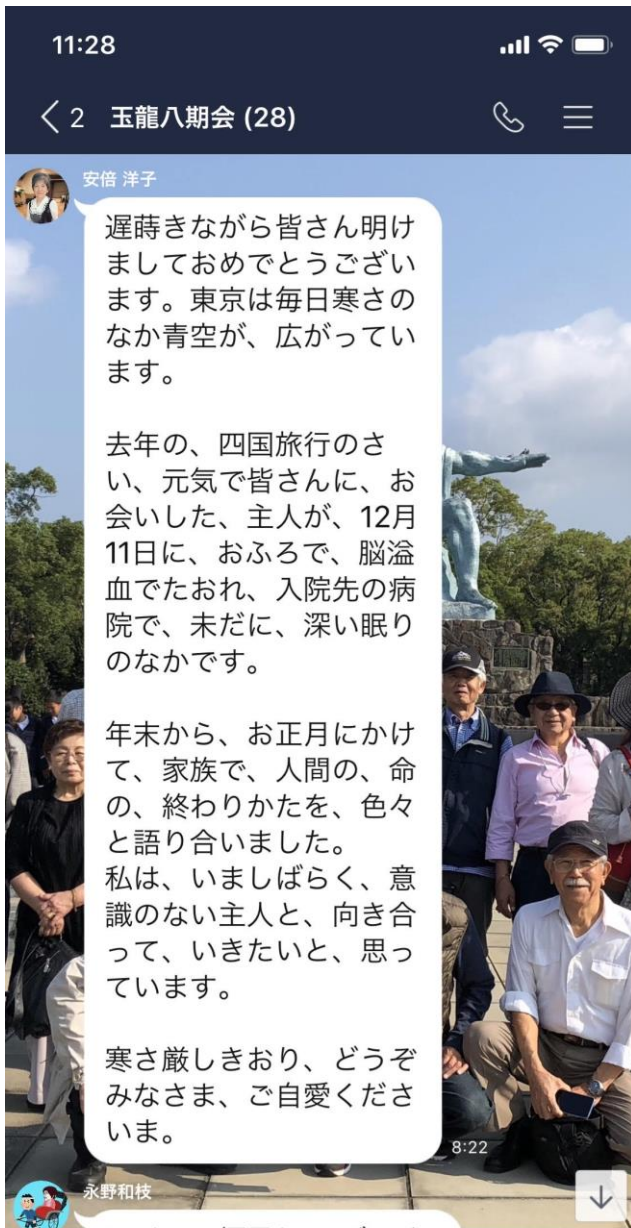
●1月6日

年賀状が来ないので おかしいなーと 思っていました📢 去年の5月の関東の同期会
四国旅行 2年程前には 館山にも見えました まあまあ御元気そうに してらしたのに また 別の病に見舞
われたのですね📢昭和 五十年代から 江戸川に見えたり 木村先生が 上京なさったら あちらの家に 何人か
で 押し掛けたり してました📢 思い出があって 辛いです どうしたら良いか 堀田昌子

●1月6日隈元発

阿部さんのご家族の写真を昨年、見せていただいたときは、お元気そうで、いい御家族だなあと感じていただけにショックです。
永野さんの言うように、私たちも八十路を上っていますから、いつ何時、何があるかわかりません。
お互いに身体の異変には十分気をつけないといけませんね。

今日は一日遅れの誕生日記念になりましたが「かごしま五社詣り」に家内と一緒にに行ってきました。



順路通

りお参りして、1時間30分で回ることが出来ました。

去年は近所の御夫婦二組を誘って行ったのですが、今年は私より一つ上の御夫婦は、ご主人が少し大人しく（ちょっと認知〇？）なられたので、誘わず、もうひと組の同じ年の御夫婦は奥様が難しい病気になられたので、こちらを誘うのを遠慮して、私たちだけで回りました。

私たちも、いつまで元気で回れるのかなと話しながらのことでした。

バスで10時に出発し、帰りは途中、中央駅で降りて、ランチをしたり、買い物をしたりして、帰ったので15時30分に帰着しました。

掛けた時間は、5時間30分、11500歩、歩いていました。もうすったいだれもした。クマモト

●今度のアメリカによるイランのソレイマニ司令官殺害による問題は「すわ第3次世界大戦勃発か」とまで言われているので、私も極力NEWSに注目して、テレビやネットをよく見ていました。

何よりも今回の事件が松富さんの著書や講演、先日の「エルドアン・トルコ」で中東情勢を知り、注目していた矢先のタイミングであったので、今回の評論も一気に読みました。これまで自己流で解釈していたことが、事件を追う形で解説されているので、頭の整理が進みました。

明日からの、アメリカとイランを中心とする中東諸国に注目したいと思います。これに、ロシアや中国がどのように絡んでくるのかも、大体の想像はつきませんが、目が離せませんね。

しかし、最大の関心は私は日本の動向です。安倍クンが海自中東派遣変更せずとタワケたことをその後も言っているからです。

クマモト タツオ

●1月11日 オオイシ発



おはよう オオイシです。

なかなか15日迄は協会雑事（新HP作成含め）がいっぱいでそのあとゆっくり交信しましょう。

今日は締め切り間近の『島尾ミホ展』に昼過ぎちょっと永野和枝さん（昨年からの約束）と観に行く予定です。

2020年1月10日(金) 15:44 隈元達雄 <takumamoto2@gmail.com>:

大石くん

しばらくぶりです。元気ですか。

昨日は先日連絡した、鹿児島史談会の「西南戦争の実相～牧園の堡壘群を中心に」に森くんに行ってきました。

資料の中に、森くんのご先祖の名前が出てきたりして、興味深い講座でした。

牧園（踊）が西南戦争でも激戦地だったことがわかりました。

クマモト

● 忙しそうですね。

いいことです。

私は今日はグラウンドゴルフ全員集合での打ち始めでした。

忘年グラウンドゴルフ大会で優勝した時の賞品の一つ、新しい珠の打ち始めでもありましたが、パツとしませませんでした。

●1月12日西山発

令和2年の年明けは穏やかな日々が続き結構なことです。

さて、It has goneのゴーンさんは行ってしまいました。

彼は地獄のような日本脱出について語ろうとしません。

今回の脱出劇は、元グリーンベレーやシールズのような凄腕ではあるが、平和な市民生活に役立たない者たちが高額の謝礼を払ってくれるなら、地獄から連れ出してあげると、ゴーン被告に持ち掛けたものだと推測しています。

脱出を手伝った者たちやその方法などについて秘密を守ること、さもないと生命を危険にさらすことになる口止めをされているのでしょう。

また、ゴーンは指示された通りに行動しただけで脱出プランの全容を知らされていないと思います。

さて、このメールで伝えたかったのは、以上のようなことではなく下記をクリックしてください

https://forbesjapan.com/articles/detail/31734?utm_source=owned&utm_medium=referral&utm_campaign=mailmagazine_0112_2010&utm_content=art2

●1月13日 木場舜

西山さん

おめでとうございます。

新年明け 早くも 2週間 経ちました。 最近 新年を迎えることも おめでたくもあり、おめでたくもなしといった心境にあります。

わたくしだけでしょうか？

さて、今日は びっくりするような ゴーンさんの 話 連絡いただきました。 ありがとうございます。

今回の日本よりの脱出劇 くわしく お話されないのは また 出来ないことの事情も 分かりました。

いずれにしても すごい 人です。 なかなかの人です。

私も 今回の出来事 興味深く TV など 見ております。

西山さんの情報 取集力 凄いですね！

今後共 よろしく お願いします。

取り急ぎ 御礼まで

木場 祥雄

●大石は目下、所属している鹿児島市日中友好協会のHPのリニューアル作業で忙しいです。

●2月1日（シンポジウム）の連絡ありがとうございます。楽しみにしていました。

15分前にサンエールで会いましょう。 森

●クマモトです。

先日来、風邪なのか何だったのか、日常生活には何等支障のないような状態ながら、いつもとは違う状況で、意欲がなくなり、ブログも20日以上サボっていました。でも昨日あたりからだいぶ良くなって、今日は「どんぐりの会の新年会」「コーラス練習」とこなしてきました。もう大丈夫でしょう。

森さんと先日行った「牧園の堡壘群」の講演会について、楠声会の牧園在住の後輩に今日話をしてみました。

世の中は狭いものです。高木くんというのですが、牧園町の最後の教育長をした男です。先日の講演者の手嶋正次さんに、彼が文化財委員を引き継いだそうです。手嶋さんとも親しい間柄のようです。今度、手嶋さんの著書を持ってきてくれとのことでした。新しいことがわかるかもしれません。森くんの話をしたら「森家は名家ですよ」と知っていて、友人だと話したところ驚いていました。

森くんの方では、その後、新しいことはわかりませんか。

クマモト

●みなさん、元気でお過ごしですか？

2020年になって新聞記事に「皆に繋がるようなのが」なくて寂しいこの頃です。

みなさんの見られる新聞記事で日本史ものがあったらお願いします。

鹿児島風土記 南さつま坊津返④添付します。



昨日の大相撲初場所 優勝者徳勝龍のインタビュー久々に良かったですね。決定瞬間の涙も。 おおいし

●さほど長い記事ではないが

遠い異国とその文物に好奇心を抱き憧れる様が読み取れ、楽しい読み物です。

日本人は、世界から遠く孤立していたわけではないようです

ありがとうございます。

西山 和宏

●1月28日 本田哲郎発

大石 慶二 様

今年は昨年11月に実姉が逝去のため「喪中」であり、年賀状は失礼させていただきました。

この度、新年になって、多くの方々から年賀状を意いただきましたので、「寒中お見舞い」のハガキを送付舌のですが、貴兄には、「講演会」のお知らせも一緒にとり、今、メールしています。

[寒中お見舞い]は「添付」でお送りしますので、おそれ入りますが、そちらをご覧ください。

本文では、「講演会」のお知らせを書きます。

もし、当日にご都合が良かったら、是非、拙い話ですが、お越し願えれば、嬉しいです。

以下の通りの「講演会」です。

記

1、開催日 ;令和2年2月10日(月)午前10時から11時45分まで。

2、開催場所 ; 鹿児島市 伊敷地区公民館2階 会議室

3、演題 ; 「島津豊久の生涯」

4、発表者 ; 永吉南郷会 顧問 本田 哲郎

5、主催者 ; 伊敷歴史研究会

●闘病大変ですね。僕たちも同じ年齢層です。先か？少し後かの違いにすぎません。

でも「やらなければいけない仕事」を持っておられるので少々の関門はクリアされるでしょう。

2月の伊敷公民館での『島津家久講演会』ぜひ聴きに行きたいと思っています。

●間違い『島津豊久の生涯』でした。

家久、豊久については義久、義弘より何かと惹かれるものがあります。いろいろ又お聞かせください。

●いつも配信感謝です。

先人の皆様 えらいですね。

西山さんの添付画像に誘発されました。

ちょっと前の自分 坊津方面うろうろの図 です。

そうです。指宿八期会るとき うろつきました。

今は元気半減以下 じいちゃん体力顕著です。



長崎 諫早 森永

●ありがとうございます。
いい写真ありがとう
相変わらずカッコいいですが。
誰に撮してもらいましたか？ 大石

● 西山です。こんにちは！
坊津、美しいですね
本当、凄い写真ですね
海の光、撮影時間帯もよし
そうかい、爽快ですね



この写真は三脚でと見ましたが、
私はもっぱら電動アシスト自転車で近隣の買い物に走駆しております。

●1月30日
今朝の日本経済新聞に

「片道 50 日 薩摩藩の参勤交代ルート歩く」が掲載されていました。

興味があり、早速購入しようと、アマゾンで見ると、114 頁で 1800 円のもの、これの倍以上の送料などでとても高いものになっていましたので購入を見送ることにしました。
それでも薩摩関連の記事掲載は希少につき電子版でとったものを添付します。

西山 和宏

●片道 50 日 薩摩藩の参勤交代ルート歩く

古地図を頼りにのんびり研究の旅 上野堯史

2020/1/30 付
日本経済新聞 朝刊

江戸時代、諸藩の大名は国元と江戸を約 1 年ごとに行き来する参勤交代を義務づけられていた。費用と手間をかけて立派な行列を仕立て、江戸から最も遠い薩摩藩では片道 2 カ月を超すことも多かった。私は約 250 年にわたる薩摩藩の記録 331 回をたどり、自ら街道を歩きながら約 20 年あまり研究してきた。私の曾祖父は神主で、西南戦争に参戦した郷土でもあった。鹿児島に生まれ育った私は自然と日本史に興味があわき、高校教師になった。50 代だった 1990 年代半ば、地名辞典の編さんに参加したのが研究を始めたきっかけだ。

県内の地名を調べていると、藩の参勤交代が詳しく記録された資料をたくさん目にした。そこで素朴な疑問があわいた。江戸までおよそ 1400 キロ。いったい何日かかっていたのだろう。和暦を西暦に換算するのに苦労しつつ、データベースを作っていた。すると平均で片道 50~60 日かかっていたことが分かった。鹿児島城を出発し、江戸まで片道 50~60 日かかった江戸初期は海路が多い。天草、平戸と九州西岸を北上し、瀬戸内海を経て東海道路に入るパターンが主流だった。江戸で将軍に拝謁するのは 4 月という決まりだったので

、2~3 月に荒れる玄界灘を大船団で通らなければならない。藩も困ったようで、1705 年に 4 代藩主の島津吉貴が謁見を 6 月にするよう幕府に願い出ていた。

江戸中期になって街道や宿場が整えられると陸路が増えてくる。熊本を通過して今の国道3号線沿いに九州西部を北上し、山陽道に入った。旅程日数はさほど短くならなかったが、船の風待ちのような足止めの懸念は減ったようだ。

最も時間がかかったのは片道161日で、1675年のことだ。2代藩主光久が江戸に向かう途上で病になり、療養で京都に滞在した。一方で最短は18日。江戸にいた3代綱貴が、2鹿児島で病床の祖父光久を見舞うために急行した。

小田原より馬廻を率いて日夜を継いだと記録され、大名行列ではなかったようだ。

街道を自分でも歩いてみたくなって、2000年に歩き始めた。鹿児島を出発し、宮崎県北部の細島港から瀬戸内海を経て東海道に入る「日向路」を選んだ。最も苦労したのが南九州のルートの特定だった。

古地図を参考にするのだが、廃道やヤブの中もあり、現場で行ったり来たりする羽目になった。

休日ごとに少しずつ歩くので、1日約20キロののんびりした旅だ。それでも海路の部分を除くと計46日で東京に着いた。印象的だったのは東海道の歩きやすさだ。鹿児島や宮崎は山道の急坂がとても多い。藩主も駕籠（かご）には乗っておられず、家臣と一緒に歩くこともあったのではなかろうか。

私は時計と歩数計をにらみながら歩いたが、江戸末期に西洋式時計を手に入れて正確に参勤交代を記録した藩主もいる。1854年の11代斉彬（なりあきら）だ。たいてい出発は午前4～6時、昼食休憩を挟み、午後4～6時まで1日40キロほど歩いた。江戸まで45日。それでも歩き慣れた当時の人々にとっては、ゆっくりした旅だったのではないだろうか。

格式を重んじる参勤交代では、宿や食事を含めて周回の準備が必要だったはずで、余裕のある日程を組んだのだろう。こうした研究は昨年11月、「薩摩藩の参勤交替（さんきんこうたい）」（ラグーナ出版）にまとめて出版した。今年は自ら街道を歩いた記録を刊行する予定で、現役の教員だったときには忙しくて手が回らなかった歴史研究を楽しんでいる。

（うえの・たかふみ=元高校教諭）

●大変貴重な資料ありがとうございます。（早速コピーしました）

私も参勤交代には、いささか興味を持っていて、私の住む武岡が現在、照国神社を出発点とする妙円寺詣りのに使われている「薩摩街道出水筋」に当たることから、県内だけでも歩いてみようかと思った時期もありました。コースも詳細に調べたりもしていました。

しかし、当時霧島で開催され毎年参加していた「龍馬のハネムーンウォーク」のうち、あるとき、最長の20kmくらいのコース（上り下り、山道などあり）も走破できなかったこともあり、家人からも反対され、断念した思い出があります。気持ちだけではどうにもならないこともあります。

隈元 達雄